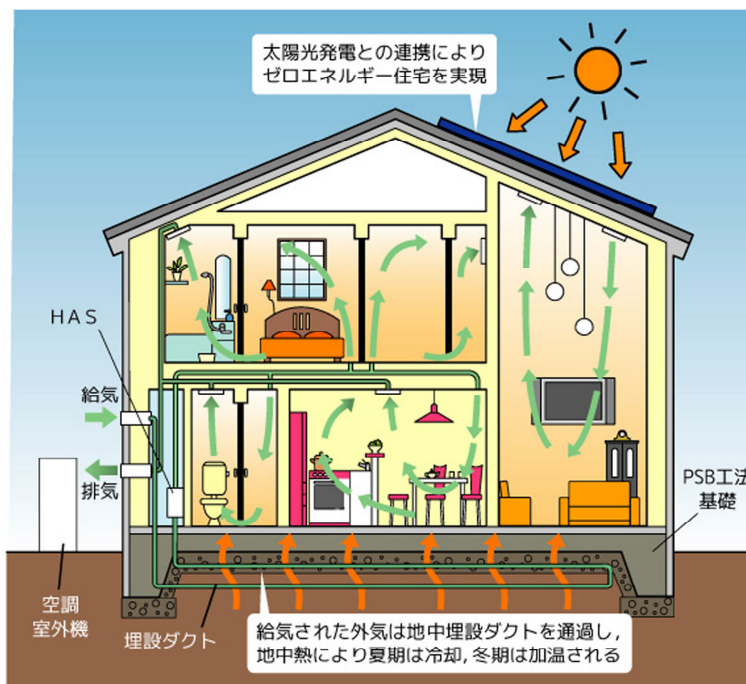


【図1】

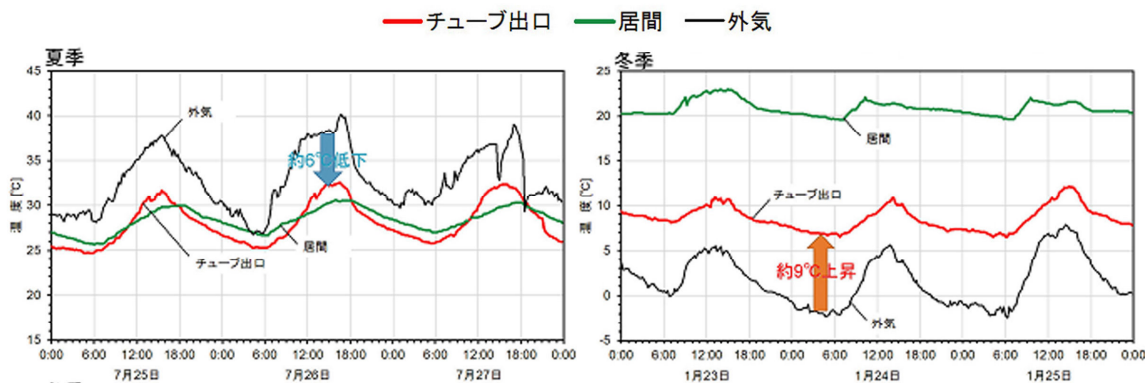
全館空調システムHASVer.9



PSB工法基礎直下にクールチューブを埋設することにより、簡易な地中熱交換システムを実現

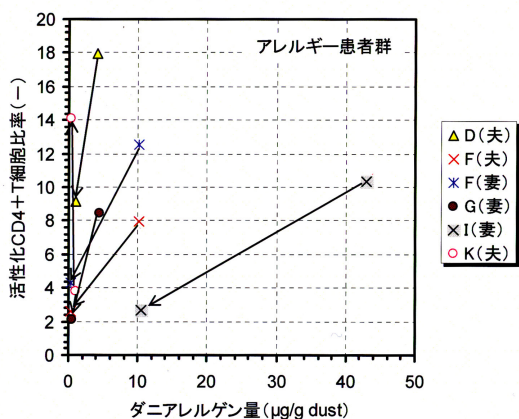
【図2】

前橋みなみ展示場で計測している温度の最新測定結果



【図3】

HASの家入居前後のダニの量とアレルギー細胞の変化



旧邸と新邸の活性化 CD4 +T 細胞比率(医学的)とダニアレルゲン(工学的)での変化を示したものです。

殆どの患者が活性化 CD4 +T 細胞比率、ダニアレルゲン量、の両方の数値が減少しています。

つまり、HASによってダニアレルゲンが減ったため、気道の炎症を示す活性化 CD4 +T 細胞比率が下がったということです。

医学的にアレルギーの改善がみられ、工学的な面との相関関係が認められます。